

令和7年度 第3回 光明小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月27日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、河島 秀夫、大隅 智、小澤 房世、岡部 かおり
関島 貴浩、實森 浜代、山本 六二郎、太田 有昭、太田 利実保
- 4 学 校 二橋 宏之(校長)、新 英樹(教頭)、太田 しのの(CSディレクター)
- 5 教育委員会 清水 悠(学校・地域連携課)
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 太田しのの

8 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

(1) 2学期の教育活動・参観感想

(2) 学習支援ボランティア活動の進捗状況

① 花壇水やり

② 読み聞かせ

③ 4年生図画工作科のこぎりボランティア

④ 5・6年生家庭科ミシンボランティア

(3) 学校評価から考える光明小の強みと弱み

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 2学期の教育活動・参観感想

議長より、本日の授業を参観しての感想を求める発議があり、委員から以下の意見があった。

- 算数の計算が昔と比べて独特だと感じた。

論理的に考え男女共にノートの取り方が綺麗で整頓出来ているように感じ、論理的思考教育の賜物だと思った。(太田有昭委員)

- 2年生のかけ算九九作りは先生によって違うのが印象的だったが、やり方は先生が考えているのか?(大隅委員)

→問題に何をを使うかは教師の裁量であって、内容は同じでも使う物は違うこともある。(教頭)

その時先生のコミュニケーションはあるのか?(大隅委員)

→相談する事はあるし、同じ物を使う時もある。確実にやる所は統一されている。(教頭)

- 1年生は元気がよく行儀が良いが、3年生くらいになるとうろろうし行儀の悪い子がい

た。授業では色々な考え方を工夫する時間をとって自分の考えでやるのは良い事だと思った。答える時はもう少し大きな声が出せると良い。

試すっ子発表会では1年生の成長にびっくりした。

どの学年も学んできた事を工夫し表現して発表出来ていた。

みんなで作品を作る貴重な体験だと思う。(實森委員)

- 持久走での自分の記録を越すというのはすごく良いと思う。

自分の力を把握して作戦を立てたりするのは社会に出たときに役立つ。それでも失敗をする時があるが、その経験は早いうちにした方が大人になっても失敗を恐れず挑戦出来る。

総合の授業で「みんなが住みやすい街を考えよう」がよかった。子供達がどう考えてるか知りたいし、興味があったので結果を知りたくなった。

毎年やったら子供たちの考え方も変わるし、何を求めているのかもわかる。

議員さんにも聞いてほしい大事な授業。(関島委員)

- 英語の授業では元気よくディスカッションしていたが、例えば半日日本語を話さないなどしたらおもしろい。その方が子供はのみ込みが早いと思う。

体育の授業で高飛びをしていたが基礎から教えるともう少しチャレンジもできるようになると思う。(山本委員)

- 仲よし3組に入った時挨拶をしてくれて気持ちがよかった。

1年生の教室では先生が求めている答えに対して、1人が答えると他の子の答えが繋がっていきみんなで楽しく一緒に頑張れば出来るというのが見えた。

低学年の授業では自信にもなるし微笑ましくも感じ、みんなで学んでいけば取り残される事がないんじゃないかと思った。(小澤委員)

- 2年生の授業で子供を引き付ける先生が上手いと感じた。

6年生のグループでの授業中、1人の子もいれば2人4人の子もいて人数にバラつきがあるのはどうしてか?(笹竹委員)

→予想ですが調べ学習の場合、子供に選択させる事が多く1人で進めたい子もいれば、2人で力を合わせたい子、テーマが同じ子など場合によって人数のバリエーションがある。今回はそんな意図があつてのグループ編成だったかもしれません。(教頭)

- 2年生のかけ算の時、言葉でこのかけ算をどうできるかを表すのに、みんな違って子供が発想力がおもしろかった。(小澤委員)

- 授業参観は出来なかったが、子供達が地域に出て行ったり地域が学校に入ってきたりが盛んなのが素晴らしいと思う。作った物を物産展で売り、得る喜びを小さい頃から学ぶのは良い。山の子供たちが参加しているミュージカルなども自信に繋がり得ることが多いと思う。(河島委員)

教頭より2学期の教育活動について資料6～8頁を用いて説明があった。

- ①三遠ネオフェニックスバスケ交流会では元日本代表の方も来てくださり、二俣小・横山小にも声掛けし低学年高学年に分け計80人程の子が交流できた。

地域がらプロ選手とスポーツに触れる機会がない中で非常に良い経験だと思った。

6年生の未来授業でも様々な分野で活躍してる人の話を聞く事があるが、このような生の体験を今後もしていき子供達の心を高めていきたい。

- ②毎年の事だが大雨台風でグラウンドの土が無くなるので補修をし綺麗になった。
- ④今、本田宗一郎資料室を大幅リニューアル中で3年生が中心になり昔の街の様子をジオラマで作っている。
- ⑧もプロの劇団を呼んでミュージカルを鑑賞した。
- ⑩5年生は臨海学校に行き⑫6年生は修学旅行へ行った。

(2) 学習ボランティア活動の進捗状況

教頭より、学習ボランティアの活動と今後の取り組みについて発言があった。

- ① 花壇水やり
夏休み中34名が参加
 - ② 読み聞かせ
2学期9名が参加
 - ③ 4年生図画工作科のこぎりボランティア
6名が参加
 - ④ 5・6年生家庭科ミシンボランティア
6名が参加
- 全保護者に伝えているが、毎回来る方は決まっている。それでも熱心に来ていただいても助かっている。
 - 1月20日には関島委員を中心に地域の方にも来てもらい「昔の遊び」の授業でけん玉やコマなどの遊びを覚えてもらうので、ここもボランティアを募りたい。
 - 「マジック教室」も要望も出ているので河島委員を中心にお願したい。

昇降口に持久走の記録が貼ってあり記録を追い越そうと作戦を立てて頑張っている。体育の授業も盛り上がっている様子を見ていただきたい。(校長)

(3) 学校評価から考える光明小の強みと弱み

教頭より、学校評価について資料9～10頁を用いて説明があり、委員から以下の意見があった。

- R6年12月とR7年7月の結果を比較しながら光明小の強みと弱みとR8年に向けて皆さんの率直な意見を聞かせてほしい。
 - ③は保護者・職員、児童・職員の食い違いがある。
 - ⑤は職員のマイナスが気になる。保護者・児童は頑張っている。
 - ⑨は職員の方は足りないと感じている。
 - ⑭は保護者・教員・児童共に昨年より上がってきているので光明小の良いところだと思う。(教頭)
 - データごとを比べると人の話を聞く、読書が楽しいが低い。(岡部委員)
 - 以前あいさつは出来ていて徹底していたように思いますが？(小澤委員)
- 校舎内にいると出来るが校門だとあまり返ってこない。集団でいると人に任せてしまう傾向にある。
- リーダーが率先しているグループは後輩も出来る。(校長)

- 誰にでもあいさつするのも良くないかもしれないが、顔見知りやご近所の人にはしたほうが良いのではないかと聞いている。あいさつは出来ていたはずだが意外だった。(小澤委員)
- 言いにくいのですが、地域の皆さんから教員の皆さんがあいさつしないという意見が出ています。引率の時こちらから声をかけても何もなく注意した事があると言っていた。校内ではよい子にしているが外に出ると出来ないのは、問題は生徒ではなく先生にあるのではないかと聞いている。全体の取り組みに疑問を感じた。
先生というのは地域からすると教養があり、あいさつは当然するという固定観念がある為厳しくみられる。(大隅委員)
- 子供には世界があり、注意してもその時は出来てもすぐに聞かなくなる。
それが良いわけではないが、それが子供の世界。
交通ルールは命にかかわるし、あいさつはマナーにかかわる事だから徹底するのは大事。
楽しい行事がある時は子供からあいさつするから、難しいができるだけ子供たちが満足できる学校生活を送れたらよいと思う。
あまりめくじらをたてて子供に強要しても、こちらでもストレスを感じるからもう少し緩やかに挨拶運動しても良いかなと思う。(河島委員)
- 親として誰にでもあいさつするのは難しいと思う。
自分も怖い目にもあったことがある為、知らない人には警戒してあいさつはしない。知っている人にはするべきだが、認知されてなかったら出来ないのだから先生を一概に責められないとも思う。
教育委員会などにその辺りの指針はありますか？(太田有昭委員)
→ 指針はない。電話対応を始めとして愛想よく出来るように変えていかなければいけない。資質を高めるように職員に伝えたい。(校長)
- あいさつしても恥ずかしくて言えない子もいる。顔はわかっているけど大きな声が出せない子もいるので、現状はなかなか難しい。(實森委員)
- ④は保護者・児童共に肯定意見が多いのは全般的に光明小は学校が楽しいということになるから強みで良いと思う。(大隅委員)
- ④の楽しい理由をもう少し掘ってみて、理由を明らかにすると良い。それを継続できるような教育課程を組めるのが大事だと思う。(岡部委員)
- 楽しいを集積し、充実させていくのは良い。(河島委員)
- 2年生の教室にあったふわふわ言葉はなごやかに感じてよかった。子供たちの感情にも繋がる厳しい言葉ばかりではなく休まる言葉も大事だと思う。(小澤委員)
- ②は職員は否定的でも子供が肯定しているなら気にすることではない。
⑨も職員はもう少し聞いてほしいが、子供は聞いているつもりなのでそのギャップが埋まると良い。(関島委員)
- ⑩昔と違って本・タブレット・ゲームがあり多様化で読書が減っていると思う。(河島委員)
- ①は光明小のテーマは試す人になるうなのでもう少し肯定意見を増やしたい。そもそも試す人とはどういう事なのか明確にしたら良い。(大隅委員)

12【その他報告事項等】

教頭から、学校運営協議会自己評価表について、12月19日（金）までに、紙またはさくら連絡網での返信にて提出願うとの連絡があった。

教頭から、次回会議は、令和8年2月3日（火）13時30分から15時00分に開催する旨の連絡があった。